太陽の表面温度は（約　６０００℃　）の高温な火の玉である。太陽は（　水素　Ｈ　）や

ヘリウムＨｅを主成分とする（　　ガスのかたまり　　）である。中心の核の部分は（　核融合　）反応によって（約　１６００万　℃）もの高温になっている。太陽の直径は地球の（約　１０９　倍）もの大きさで、そこから発せられる膨大なエネルギーによってわれわれ地球の生命が維持されているばかりか、太陽系全体を（　宇宙線　　　　　　　　）などの有害なものから守っている。

（　プロミネンス　） 　　　（　　コロナ　　）

太陽表面付近からときおり 　　　太陽のまわりに広がる

ふき出す巨大なアーチ状の 　　　高温のガスのこと。

ほのおのこと。地球よりも （　　（　１００万　℃以上）

大きいときもある。

（　　黒点　　）

太陽の表面にできる巨大な

うずまきで（約　４０００℃） 　　　　皆既日食のときのコロナ

まわりの温度より低いので

黒く見える。地球から観察す

ると、太陽の自転によって　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　　フレア　　）

（　東から西　）に少しずつ 　　　　　 　　　太陽表面の黒点の周囲

　移動している。 　　　　　　　　　　　で突然、急に明るく輝き

 0 　　　　　　　　　　　　　　　だす現象のこと。

惑星は太陽に光を受けてかがやいており、地球の恵まれた環境も、太陽から

降り注ぐ光が大きく影響している。太陽のようにみずから輝き、光や熱を宇宙

空間に放出している天体のことを（　　恒星　　）という。

太陽の姿の観察方法にはコツがある。今日はそのコツを教えます。

①　観察の際に準備するものは？

（ 天体望遠鏡、太陽の円を描いた記録用紙、日よけ板、筆記用具、クリップ、時計など ）

②　天体望遠鏡で観察する時、安全面からもっとも気をつけないといけないことは何か。

　（ 目をいためるので、太陽に向けた望遠鏡を直接のぞかないこと。　　　）

③　観察時の天体望遠鏡の準備について、次の（ ）内に言葉を入れなさい。

まず（　平らな　）場所を選んで三脚を固定し、望遠鏡をとりつける。そして

望遠鏡に（　　太陽投影板　　）をとりつけ、記録用紙をクリップで固定する。

最後に望遠鏡を太陽に向け、像がはっきり見えるように（　接眼レンズ　）と

（　投影板　）の位置を調整する。主に黒点を観察しましょう！

ちなみに太陽の黒点の観察結果から自転（自分でまわること）していることがわかる。しかし、ガスのかたまりなので、赤道と両極付近では自転速度がちがうが、赤道付近では約（　２５　日）周期で自転している。

３年　　組　　番　氏名